

履修系統図

スポーツサイエンス・ユニット カリキュラム・チェックリスト

スポーツサイエンス・ユニットでは、建学の精神である「真理愛好・個性尊重」に裏付けられた教育を实践し、右記の方針で課程修了認定を行う。

| | | 2年次 | 3年次 | 4年次 | |
|-----------------|-----------------|--|---|---------|--------------------|
| 演習 DP 2・3 | | ゼミナールⅠ・Ⅱ | ゼミナールⅢ・Ⅳ | 卒業研究Ⅰ・Ⅱ | スポーツサイエンス・ユニット課程修了 |
| 主要実習 DP1・2・3 | | レクリエーション実習Ⅰ 海外実習 野外実習 スポーツ社会貢献実習 | 国内実習Ⅰ 国内実習Ⅱ インターンシップ キャリア実習 レクリエーション実習Ⅱ 障がい者スポーツ実習 | | |
| 実習 DP1・3 | | スポーツマッサージ実習Ⅰ 救急処置実習 トレーニング実習Ⅰ スポーツマッサージ実習Ⅱ スポーツ実技実習A スポーツ実技実習B トレーナー実習 スポーツ実技実習C スポーツ実技実習D | スポーツ実技実習E スポーツ指導実習 トレーニング実習Ⅱ | | |
| 専門科目 DP2 | 人文社会科学的 学問領域 | スポーツ哲学 生涯スポーツ論 スポーツ史 スポーツマネジメント論 レクリエーション論 | スポーツ政策論 障がい者スポーツ論 スポーツ社会学 スポーツメディア論 | | |
| | 自然科学的 学問領域 | 運動生理学 解剖学 健康管理論 スポーツ心理学 バイオメカニクス論 トレーニング論 トレーナー論 | コーチング学 コンディショニング論 体力測定評価 スポーツ栄養学 ストレングス& コンディショニング論 発育発達論 | | |

DP
1・2・3

DP1 (知識・技能)

スポーツを通じて養ったコミュニケーション能力や、学部とユニットでの双方で学んだ知識を用いて、地域社会の担い手になることができる。

DP2 (思考・判断・表現)

スポーツに関する新たな知見や知識を探究できる能力を備え、それを社会の様々な分野における問題発見やその解決に活用することができる。

DP3 (主体的に学修に取り組む態度)

スポーツを通じて養った意欲や積極性により、社会人として相応しい人格形成に努めることができる。

| | | 2年次 | | 3年次 |
|----|-------------------|---|---|--|
| 資格 | レクリエーション・インストラクター | レクリエーション実習Ⅰ レクリエーション論 | ➡ | レクリエーション実習Ⅱ 国内実習Ⅰ 国内実習Ⅱ |
| | 健康運動実践指導者 | スポーツ実技実習B(陸上) スポーツ実技実習D(水泳) 救急処置実習 運動生理学 健康管理論 スポーツ心理学 トレーニング論 バイオメカニクス論 | ➡ | スポーツ実技実習E(エアロビックダンス) トレーニング実習Ⅱ 発育発達論 スポーツ栄養学 体力測定評価 |
| | スポーツコーチングリーダー | 救急処置実習 スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 トレーニング論 | ➡ | スポーツ社会学 発育発達論 コーチング学 スポーツ栄養学 |
| | NSCA CSCS | 救急処置実習 ●スポーツマネジメント論 運動生理学 解剖学 ●スポーツ心理学 トレーニング論 バイオメカニクス論 | ➡ | インターンシップ トレーニング実習Ⅱ ●コーチング学 コンディショニング論 ストレングス&コンディショニング論 スポーツ栄養学 |
| | NSCA-CPT | 救急処置実習 ●スポーツマネジメント論 運動生理学 解剖学 スポーツ心理学 トレーニング論 バイオメカニクス論 | ➡ | インターンシップ トレーニング実習Ⅱ ●コーチング学 体力測定評価 ●ストレングス&コンディショニング論 スポーツ栄養学 |
| | 初級ハラスポーツ指導員 | | | 障がい者スポーツ実習 障がい者スポーツ論 |

●履修推奨科目